

高断熱住宅普及を

室蘭の
工務店ら 温暖化対策協に登録

高断熱高気密住宅の普及へ向け、室蘭市内の工務店「住宅夢工房」

阿部（中島町）が事務局となり、札幌などの同業者や研究者と4月に設立した団体が、環境省の地球温暖化対策地域協議会として登録された。西胆振に事務局のある団体としては2件目となる。

「北海道住宅高性能リフォーム普及支援協議会（会長、絵内正道・北科大学院工学研究科特任教授）。同社の阿部章三社長と、札幌、小樽の設計事務所や工務店など7社の代表、研究者ら計14人で設立した。阿部社長は「高気密高断熱を宣伝文句にする住宅メーカーは多いが、実際の新築、改

築現場に技術が行き渡っているかは疑問」と説明。今後団体を通じ、職人への技術指導や一般への講習会を行う予定で、技術の普及が温室効果ガス削減につながることから、環境省に登録申請していた。

地球温暖化対策地域協議会は、民生部門の温室効果ガス削減を目的に、環境省が2002年から始めた制度。地域の組織を対象に登録を受け付け、活動内容を同省のホームページで公開している。